

10:00~10:50 教育講演1

座長：柚 知行(埼玉医科大学呼吸器内科、アレルギーセンター)

EL1 慢性副鼻腔炎におけるエンドタイプ、合併症と病態メカニズム

○加藤 厚

ノースウエスタン大学医学部、アレルギー免疫学科

11:00~11:50 会長特別企画1

座長：山口 正雄(帝京大学ちば総合医療センター第三内科(呼吸器))

PS1 国際保健への招待

○宮城島一明

イオン株式会社食の安全研究所所長/元・世界保健機関食品安全・人畜共通感染症部長

12:00~13:00 ランチョンセミナー1

「喘息の増悪予防にむけたSITTへの期待とRSVワクチンの意義」

座長：松本 久子(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科)

LS1-1 RSウイルス感染症は成人にとってただの普通感冒なのか？～喘息/COPD患者における予防の重要性～

○伊藤 明広

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科

LS1-2 Single-inhaler triple therapyの役割を再考する～さらなる喘息コントロールをめざして～

○白井 敏博

静岡県立総合病院呼吸器内科

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

13:40~14:30 一般演題2

座長：保澤総一郎(HARG 広島アレルギー呼吸器クリニック)

O2-1 A follow-up report on the duration of efficacy in case of marked response to single-dose administration of tezeperumab

○Naoto Watanabe^{1,2)}

¹⁾Department of allergy internal medicine, Seirei Yokohama Hospital,

²⁾Tokyo allergy and respiratory disease research institute

O2-2 リサーチモニター集団における成人喘息有病率の経年変化：2010年から2023年の推移

○古川 喜寛¹⁾、福富 友馬¹⁾、濱田 祐斗¹⁾、上出 庸介¹⁾、関谷 潔史¹⁾、
中谷 英二²⁾、手塚純一郎³⁾、谷口 正実¹⁾

¹⁾国立病院機構相模原病院臨床研究センター、²⁾静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科、

³⁾福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科

O2-3 当科における思春期喘息患者診療の実態

○岩永 賢司^{1,2,3,4)}、佐野安希子²⁾、佐野 博幸³⁾、東田 有智⁴⁾

¹⁾近畿大学病院総合医学教育研修センター、²⁾近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科、

³⁾近畿大学病院アレルギーセンター、⁴⁾近畿大学病院

O2-4 小学3年生の肺機能検査を用いた実態調査
○吉原 伸弥、安藤 裕輔、寺師 義英、宮本 学、高柳 文貴、加藤 正也、
中山 元子、吉原 重美
獨協医科大学医学部小児科学

O2-5 気管支喘息患者に対するASK-20を用いたアドヒアランスの障壁の検討
○西牧 孝泰¹⁾、原田 紀宏¹⁾、原田 園子^{1,2)}、加藤由香里¹⁾、安部寿美子¹⁾、
上田 翔子¹⁾、笹野 仁史¹⁾、三道ユウキ¹⁾、田辺 悠記¹⁾、竹重 智仁¹⁾、松野 圭¹⁾、
伊藤 潤¹⁾、熱田 了¹⁾、高橋 和久¹⁾
¹⁾順天堂大学医学部呼吸器内科、²⁾順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター

14:40~15:50

シンポジウム 2

「喘息発病・重症化の制御を目指して」

座長：横山 彰仁(高知大学医学部呼吸器・アレルギー内科学)
松本 久子(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科)

SY2-1 気道感染制御の視点から
○吉原 重美
獨協医科大学医学部小児科学

SY2-2 アレルギーマーチの視点から
○大嶋 勇成
福井大学医学部附属病院

SY2-3 成人喘息におけるアレルギー感作と発病・重症化の制御
○関谷 潔史
国立病院機構相模原病院アレルギー・呼吸器科

16:00~16:50

招請講演 1

座長：浅野浩一郎(東海大学医学部内科学系呼吸器内科学)

IL1 Understanding human mast cells - lessons learned from treatments for allergic and non-allergic diseases
○Marcus Maurer
Institute of Allergology, Charité - Universitätsmedizin Berlin, Germany

17:00~18:00

イブニングセミナー

「2型炎症における生物学的製剤の活用」

座長：井上 博雅(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学)

ES-1 将来リスクを見据えた重症喘息治療の選択
○上出 庸介
独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター薬剤過敏症研究室

ES-2 重症喘息の最適な気道管理～2型炎症、呼吸機能、気道分泌～
○玉田 勉
東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

シンポジウム1

「喘息自然歴の最新情報」

座長：土橋 邦生(上武呼吸器科内科病院)
金廣 有彦(姫路聖マリア病院アレルギー疾患総合診療部門)

SY1-1 小児喘息の自然歴

○板澤 寿子^{1,2)}
¹⁾埼玉医科大学小児科、²⁾埼玉医科大学アレルギーセンター

SY1-2 成人喘息の自然歴

○松永 和人
山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座

一般演題1

座長：村木 正人(近畿大学奈良病院呼吸器・アレルギー内科)

O1-1 ニコチンが好酸球のエフェクター機能におよぼす影響の検討

○片山 和紀^{1,2)}、中込 一之^{1,2)}、家村 秀俊^{1,2)}、星野 佑貴^{1,2)}、宮内 幸子^{1,2)}、
内田 義孝^{1,2)}、小林 威仁^{2,3)}、柚 知行^{1,2)}、永田 真^{1,2)}
¹⁾埼玉医科大学呼吸器内科、²⁾埼玉医科大学アレルギーセンター、³⁾埼玉医科大学総合診療内科

O1-2 テネイシンは好酸球の接着を $\alpha M \beta 2$ インテグリンを介して誘導する

○家村 秀俊^{1,2)}、中込 一之^{1,2)}、片山 和紀^{1,2)}、星野 佑貴^{1,2)}、内藤恵里佳^{1,2)}、
宮内 幸子^{1,2)}、内田 義孝^{1,2)}、野口 哲^{2,3)}、小林 威仁^{2,3)}、柚 知行^{1,2)}、
永田 真^{1,2)}
¹⁾埼玉医科大学病院呼吸器内科、²⁾埼玉医科大学病院アレルギーセンター、³⁾埼玉医科大学病院総合診療内科

O1-3 血清 IL-36 subfamily が寄与する気管支喘息臨床病態への影響

○星野 佑貴^{1,2)}、柚 知行^{1,2,3)}、宇野 達彦^{1,2)}、石井 玲奈^{1,2)}、片山 和紀^{1,2)}、
関谷 龍^{1,2)}、家村 秀俊^{1,2)}、内藤恵里佳^{1,2)}、四宮 俊^{1,2)}、内田 貴裕^{1,2)}、
宮内 幸子^{1,2)}、内田 義孝^{1,2)}、中込 一之^{1,2)}、永田 真^{1,2)}
¹⁾埼玉医科大学呼吸器内科、²⁾埼玉医科大学アレルギーセンター、³⁾埼玉医科大学予防医学センター

O1-4 高齢者喘息における生物学的製剤の内服ステロイド減量効果

○中村 祐人¹⁾、劉 楷^{1,2)}、古川 喜寛¹⁾、河崎裕一郎¹⁾、佐藤 亮¹⁾、
勝野 貴史¹⁾、福富 友馬¹⁾、上出 庸介¹⁾、関谷 潔史¹⁾、森 晶夫¹⁾、谷口 正実¹⁾
¹⁾国立病院機構相模原病院、²⁾東京慈恵会医科大学附属第三病院

一般演題3

座長：古賀 康彦(群馬大学大学院医学系研究科呼吸器・アレルギー内科)

O3-1 デュピルマブ開始後の喀痰粘弾性の経時的变化を追跡しえた重症気管支喘息患者の一例

○小川 晴彦¹⁾、内田 由佳¹⁾、伊藤 一洋²⁾
¹⁾金沢春日クリニック、²⁾National Heart and Lung Institute, Imperial College

O3-2 重症気管支喘息患者における1年間のデュピルマブ治療の効果に関する検討

○佐藤 良彦^{1,2)}、原田 紀宏¹⁾、安部寿美子¹⁾、三道ユウキ¹⁾、笹野 仁史¹⁾、
田辺 悠記¹⁾、原田 園子²⁾、大熊 智子¹⁾、後藤 愛¹⁾、西牧 孝泰¹⁾、加藤由香里¹⁾、
上田 翔子¹⁾、伊藤 潤¹⁾、高橋 和久¹⁾
¹⁾順天堂大学医学部呼吸器内科学講座、²⁾順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター

O3-3 Dupilumab によるアレルギー特異的 IgE 陽性項目数の経年的変化に関する検討

○鶴巻 寛朗¹⁾、齋藤 悠¹⁾、矢富 正清¹⁾、古賀 康彦¹⁾、砂長 則明¹⁾、
前野 敏孝¹⁾、久田 剛志²⁾

¹⁾群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科、²⁾群馬大学大学院保健学研究科

O3-4 RAPID における経口ステロイド投与歴を持つ dupilumab 投与喘息患者背景について

○折茂 真実¹⁾、Njira L Lugogo²⁾、Enrico Heffler^{3,4)}、Vicente Plaza⁵⁾、Ole Hilberg⁶⁾、
Changming Xia⁷⁾、Scott Nash⁷⁾、Nami Pandit-Abid⁸⁾、Juby A. Jacob-Nara⁸⁾、
Harry Sacks⁷⁾、Paul J. Rowe⁸⁾、Yamo Deniz⁷⁾、Megan Hardin⁹⁾、Xavier Soler⁷⁾

¹⁾サノフィ、²⁾University of Michigan, Ann Arbor, MI, USA、

³⁾IRCCS Humanitas Research Hospital, Rozzano, Milan, Italy、

⁴⁾Humanitas University, Pieve Emanuele, Milan, Italy、⁵⁾Hospital de la Santa Creu i Sant Pau, Barcelona, Spain、

⁶⁾Lillebaelt Hospital, Vejle, Denmark、⁷⁾Regeneron Pharmaceuticals Inc. Tarrytown, NY, USA、

⁸⁾Sanofi, Bridgewater, NJ, USA、⁹⁾Sanofi, Cambridge, MA, USA

14 : 30~15 : 10

一般演題 4

座長：渡邊 直人(聖隷横浜病院アレルギー内科)

O4-1 Switching to dupilumab from other biologics without a treatment interval in patients with severe asthma

○Nobuaki Miyahara¹⁾、Hisao Higo¹⁾、Akihiko Taniguchi¹⁾、Satoru Senoo¹⁾、
Hirohisa Ichikawa²⁾、Yukako Arakawa²⁾、Arihiko Kanehiro³⁾、Junko Itano⁴⁾、
Tomoya Katsuta⁵⁾、Katsuyuki Kiura¹⁾

¹⁾Department of Allergy and Respiratory Medicine, Okayama University Hospital、

²⁾Department of Respiratory Medicine, KKR Takamatsu Hospital、

³⁾Department of Internal Medicine, Himeji St. Mary's Hospital、

⁴⁾Department of Allergy and Respiratory Medicine, National Hospital Organization Minami-Okayama Medical Center、⁵⁾Department of Respiratory Medicine, Ehime prefectural Central Hospital

O4-2 重症喘息のデュピルマブ治療における Responder の背景因子の検討：iPOT4R 多施設共同研究

○水村 賢司、権 寧博、山田 志保、福田麻佐美、鹿野壮太郎、丸岡秀一郎

日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野

O4-3 重症喘息におけるデュピルマブの効果予測因子としての FeNO と血中好酸球数の有用性：iPOT4R 多施設共同研究

○水村 賢司、権 寧博、山田 志保、福田麻佐美、鹿野壮太郎、丸岡秀一郎

日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野

O4-4 重症喘息におけるデュピルマブの喀痰症状への効果と呼吸機能の関連：iPOT4R 多施設共同研究

○水村 賢司、権 寧博、鹿野壮太郎、山田 志保、福田麻佐美、丸岡秀一郎

日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野

15 : 15~15 : 55

教育講演 2

EL2 New Insights into Aspirin Exacerbated Respiratory Disease

○Joshua A. Boyce^{1,2)}

¹⁾Albert L. Sheffer Professor of Medicine in the Field of Allergic Disease, Harvard Medical School、

²⁾Chief, Division of Allergy and Clinical Immunology, Brigham and Women's Hospital, Boston, Massachusetts, USA

「抗体製剤の重症喘息および併存症への影響と免疫学的意義」

座長：東田 有智(近畿大学病院)

堀口 高彦(豊田地域医療センター/藤田医科大学)

SY3-1 抗 IgE 抗体製剤の特徴と臨床的意義の再考：喘息への承認後 14 年の成果と課題

○党 雅子

獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部

SY3-2 重症喘息治療における抗 IL-5/IL-5R α 抗体のインパクト

○佐野 博幸

近畿大学病院アレルギーセンター

SY3-3 抗 IL-4R α 抗体○宮原 信明^{1,2)}¹⁾岡山大学学術研究院保健学域検査技術科学分野、²⁾岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科

SY3-4 抗 TSLP 抗体

○田中 明彦、相良 博典

昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門

SY3-5 小児の抗体療法

○手塚純一郎

福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科

9:00~9:50

教育講演3

座長：永田 真(埼玉医科大学呼吸器内科、埼玉医科大学病院アレルギーセンター)

EL3 喘息気道炎症の免疫病態：最新の知見より

○紀太 博仁

アレルギー、喘息、臨床免疫部門、メイヨークリニックアリゾナ

10:00~10:50

招請講演2

座長：大田 健(公益財団法人結核予防会複十字病院)

IL2 The “good side” of allergy. Mast cells and IgE orchestrate protective immune responses to diverse venoms and *Staphylococcus aureus*

○Stephen J. Galli

Mary Hewitt Loveless, MD Professor, Professor of Pathology and of Microbiology and Immunology, Department of Pathology, Stanford University School of Medicine, USA

11:00~11:50

一般演題5

座長：中村 陽一(横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター)

O5-1 Effectiveness of tezepelumab as an initial or second-line biologic therapy : two case reports

○Daisuke Minami^{1,2)}、Akichika Nagano¹⁾、Yasuhiro Nakajima¹⁾、Takeshi Hosoya²⁾、Masaharu Hosoya²⁾、Nobuaki Miyahara³⁾、Arihiko Kanehiro³⁾

¹⁾Department of Respiratory Medicine, Himeji St. Mary's Hospital,

²⁾Department of Respiratory Medicine, Hosoya Hospital,

³⁾Department of Internal Medicine, Himeji St. Mary's Hospital

O5-2 当院における重症喘息に対する初回生物学的製剤としてのテゼペルマブの治療効果の検討

○加藤 研一¹⁾、加藤 圭介¹⁾、加藤理恵子¹⁾、鬼頭 雄亮²⁾、大野 斉毅²⁾、吉田 隆純²⁾、桑原 和伸²⁾、廣瀬 正裕²⁾、近藤りえ子^{3,4)}、堀口 高彦^{1,3)}

¹⁾豊田地域医療センター呼吸器内科、²⁾藤田医科大学ばんだね病院呼吸器内科、³⁾藤田医科大学、⁴⁾近藤内科医院

O5-3 喘息における咳嗽・喀痰症状のクラスター解析による分類と臨床背景の検討

○服部 沙耶、小林このみ、田中悠太郎、永田 真紀、石塚 眞菜、上原 有貴、鈴木 有季、竹下 裕理、井本早穂子、豊田 光、石井 聡、杉本 直也、長瀬 洋之

帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学

O5-4 アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) 患者における感作プロファイル：クラスター解析による分類の試み

○勝野 貴史^{1,2)}、福富 友馬^{1,2)}、河崎裕一郎^{1,2)}、小熊 剛³⁾、浅野浩一郎³⁾、上出 庸介^{1,2)}、関谷 潔史^{1,2)}、谷口 正実^{1,2)}

¹⁾国立病院機構相模原病院アレルギー・呼吸器内科、²⁾国立病院機構相模原病院臨床研究センター、

³⁾東海大学医学部付属病院呼吸器内科

O5-5 種々のケモカインによる好塩基球活性化増強

○山口 正雄¹⁾、鈴木 有季²⁾、森 美紀²⁾、杉本 直也²⁾、鈴木 真穂³⁾、
飯倉 元保⁴⁾、會田 啓介¹⁾、白神 梨沙¹⁾、萩谷 政明¹⁾、長瀬 洋之²⁾、大田 健⁵⁾
¹⁾帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器）、²⁾帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科、
³⁾国立病院機構東京病院、⁴⁾藤沢市民病院呼吸器内科、⁵⁾結核予防会複十字病院

12:00~13:00

ランチセミナー 2

座長：相良 博典(昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門)

LS2 生物学的製剤による重症喘息 Remission への展望～気道内粘液栓と呼吸機能の観点から～

○原 悠

横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学

共催：アストラゼネカ株式会社

13:10~14:00

会長特別企画 2

座長：山口 正雄(帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器）)

PS2 はやぶさ 2 のサイエンス—理工連携によるミッションの達成

○渡邊誠一郎

名古屋大学大学院環境学研究科

14:10~15:10

スポンサードセミナー

座長：山口 正雄(帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器）)

SS 喘息病態におけるマスト細胞の関与と Omalizumab の意義

○谷口 正実、林 浩昭、梶原 景一、古川 喜寛、河崎裕一郎、佐藤 亮、
勝野 貴史、中村 裕人、上出 庸介、福富 友馬、関谷 潔史

国立病院機構相模原病院臨床研究センター

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

15:20~16:00

一般演題 7

座長：萩谷 政明(帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器）)

O7-1 The effect of tiotropium on GERD symptoms in asthmatic patients with refractory cough

○Kensuke Fukumitsu, Yoshihiro Kanemitsu, Keima Ito, Tomoko Tajiri,
Yuuki Amakusa, Tatsuro Suzuki, Yuta Mori, Satoshi Fukuda, Takehiro Uemura,
Hirotsugu Ohkubo, Yutaka Ito, Tetsuya Oguri, Akio Niimi

Department of Respiratory Medicine, Allergy and Clinical Immunology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan

O7-2 喘息患者における ICS/LABA/LAMA トリプル製剤エナジア®高用量とテリルジー®200 の比較

○花田宗一郎¹⁾、川端 慶之¹⁾、山縣 俊之¹⁾、長崎 忠雄¹⁾、村木 正人¹⁾、
松本 久子²⁾、東田 有智³⁾

¹⁾近畿大学奈良病院呼吸器・アレルギー内科、²⁾近畿大学病院呼吸器・アレルギー内科、³⁾近畿大学病院

O7-3 慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療における BUD/GLY/FOR の有用性の検討

○森川 圭亮¹⁾、豊嶋 幹生¹⁾、幸田 敬悟¹⁾、須田 隆文²⁾

¹⁾浜松労災病院呼吸器内科、²⁾浜松医科大学内科学第二講座

O7-4 トリプル吸入製剤導入後の肺機能変化の解析

○古賀 康彦¹⁾、星野 裕紀¹⁾、鶴巻 寛朗¹⁾、若松 郁生¹⁾、武藤 壮平¹⁾、
澤田 友里¹⁾、相川 政紀¹⁾、櫻井 麗子¹⁾、三浦 陽介¹⁾、宇野 翔吾¹⁾、矢富 正清¹⁾、
砂長 則明¹⁾、前野 敏孝¹⁾、久田 剛志²⁾

¹⁾群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科、²⁾群馬大学大学院保健学研究科

16:10~17:00

教育講演 5

座長：黨 康夫(国際医療福祉大学医学部呼吸器内科学)

EL5 呼吸器感染と老化の相互作用が及ぼす喘息および COPD の natural history への影響

○伊藤 一洋

国立心肺研究所、インペリアルカレッジロンドン、英国

第2日目：12月2日(土) B会場(ホールB)

9:00~9:50

シンポジウム 4

「Clinical remission を考える」

座長：土橋 邦生(上武呼吸器科内科病院)

福永 興彦(慶應義塾大学医学部呼吸器内科)

SY4-1 喘息の Clinical Remission

○長瀬 洋之

帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学

SY4-2 関節リウマチの clinical remission～指標の開発が治療全体像に与えた影響～

○川畑 仁人

聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科学

10:00~10:50

シンポジウム 5

「アレルゲン曝露の影響と免疫療法の将来展望」

座長：永田 真(埼玉医科大学呼吸器内科、埼玉医科大学病院アレルギーセンター)

久田 剛志(群馬大学大学院保健学研究科)

SY5-1 アレルギー性鼻炎に対するアレルゲン免疫療法のエビデンス

○岡野 光博

国際医療福祉大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学

SY5-2 内科におけるアレルゲン免疫療法のエビデンス

○中込 一之、永田 真

埼玉医科大学呼吸器内科・アレルギーセンター

11:00~11:50

一般演題 6

座長：岩永 賢司(近畿大学病院総合医学教育研修センター)

O6-1 オマリズマブはアスピリン喘息の安定期とアスピリン誘発時の気道外症状を抑制する

○林 浩昭^{1,2)}、福富 友馬¹⁾、梶原 景一¹⁾、古川 善寛¹⁾、佐藤 亮¹⁾、
勝野 貴史¹⁾、河崎裕一郎¹⁾、中村 祐人¹⁾、上出 庸介¹⁾、関谷 潔史¹⁾、谷口 正実¹⁾

¹⁾国立病院機構相模原病院臨床研究センター、²⁾Harvard Medical School

- O6-2 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) における mepolizumab 追加投与の ANCA 値への影響
○上出 庸介¹⁾、渡井健太郎²⁾、古川 喜寛¹⁾、河崎裕一郎¹⁾、佐藤 亮¹⁾、
勝野 貴史¹⁾、中村 祐人¹⁾、森 晶夫¹⁾、福富 友馬¹⁾、谷口 正実¹⁾、関谷 潔史¹⁾
¹⁾独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター、²⁾湘南鎌倉総合病院免疫・アレルギーセンター
- O6-3 実臨床における重症喘息患者へのベンラリズムブの効果に関する検討 (Tokyo Asthma Study : TOAST)
○正木 克宜¹⁾、中村 玲奈¹⁾、鈴川 真穂²⁾、笹野 仁史³⁾、宮崎 泰成⁴⁾、
桂 秀樹⁵⁾、寺田 純子⁶⁾、杉本 直也⁷⁾、河野 雄太⁸⁾、平沼 久人⁹⁾、加畑 宏樹⁹⁾、
宮田 純¹⁾、福永 興壱¹⁾
¹⁾慶應義塾大学病院、²⁾国立病院機構東京病院、³⁾順天堂大学医学部附属順天堂医院、
⁴⁾東京医科歯科大学医学部附属病院、⁵⁾東京女子医科大学病院、⁶⁾国立国際医療研究センター病院、
⁷⁾帝京大学医学部附属病院、⁸⁾東京医科大学病院、⁹⁾日本大学医学部附属板橋病院
- O6-4 喘息を合併するアレルギー性鼻炎患者のダニ舌下免疫療法による 2 型炎症マーカーと有効性の予測
○星野 誠
国際医療福祉大学熱海病院アレルギー内科
- O6-5 Efficacy of gefapixant, a P2X3 antagonist, for refractory atopic cough
○Yoshihisa Ishiura, Syosaku Nomura, Takeshi Tamaki, Toshiki Shimizu,
Naoyuki Miyashita, Took Ito
First department of Internal Medicine, Kansai Medical University

14 : 10~14 : 50

教育講演 4

- EL4 Defining the right treatment for the right patient : Experiences from studies by European severe asthma consortia and Swedish cohorts
○Sven-Erik Dahlén
Professor of asthma and allergy research, Karolinska Institute and the Karolinska University Hospital,
Stockholm, Sweden

15 : 20~16 : 10

一般演題 8

座長：福富 友馬(国立病院機構相模原病院臨床研究センター)

- O8-1 コハク酸不耐症を合併しないリン酸不耐症と考えられた気管支喘息の一症例
○古庄 菜穂¹⁾、黒澤 雄介¹⁾、木内 達¹⁾、竹下友一郎¹⁾、黨 雅子²⁾、
多田 裕司¹⁾、坂尾誠一郎¹⁾、黨 康夫¹⁾
¹⁾国際医療福祉大学医学部呼吸器内科学、²⁾獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部
- O8-2 Steroid insensitivity in asthmatic patients with high body fat percentage : a potential link to systemic oxidative stress
○Masako To¹⁾、Yoshihito Arimoto¹⁾、Natsue Honda¹⁾、Kosuke Haruki¹⁾、Yasuo To²⁾
¹⁾Department of Laboratory Medicine, Dokkyo Medical University, Saitama Medical Center、
²⁾Department of Pulmonary Medicine, International University of Health and Welfare

- O8-3 Possible involvement of dendritic cell activation by the G118 genotype of OPRM1 in enhanced asthmatic immune responses**
○Tomomitsu Miyasaka^{1,2)}、Kaori Kawakami³⁾、Ichiro Sora⁴⁾、Kazuyoshi Kawakami⁵⁾、Tomohiro Arikawa¹⁾、Kaoru Toshima¹⁾、Fumi Shishido¹⁾、Masashi Sasaki¹⁾、Motoaki Takayanagi³⁾、Isao Ohno^{1,2)}、Yutaka Nakamura^{1,2)}
¹⁾Center for Medical Education, Faculty of Medicine, Tohoku Medical and Pharmaceutical University、
²⁾Allergy Center, Tohoku Medical and Pharmaceutical University Hospital、
³⁾Division of Pathophysiology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tohoku Medical and Pharmaceutical University、⁴⁾Department of Digital Psychiatry, Kobe University Graduate School of Medicine、
⁵⁾Department of Medical Microbiology, Mycology and Immunology, Tohoku University Graduate School of Medicine
- O8-4 ITAM, ITIM and ITSM～from bench to bedside～**
○Teruaki Kimura
Department of Allergology and Internal Medicine, Asoka Hospital
- O8-5 EGPA における血管内皮機能の検討**
○佐藤 亮、上出 庸介、河崎裕一郎、古川 喜寛、勝野 貴史、中村 祐人、福富 友馬、関谷 潔史、森 晶夫、谷口 正実
独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター

16 : 20～17 : 00

教育講演 6

- EL6 Immunologic basis of asthma**
○Hae-Sim Park
Department of Allergy and Clinical Immunology Ajou University School of Medicine, Aiou University Medical Center, South Korea